名古屋市立病院改革プラン2017(案)に対する 市民意見の内容及び市の考え方

「名古屋市立病院改革プラン2017(案)」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆さまからいただきましたご意見と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見については、原文を一部要約して掲載していますので、ご了承ください。

【募集結果】

1 実施期間

平成29年1月23日(月)～平成29年2月22日(水)

2 提出状況

意見提出者数：2人

意見数：6件

3 提出方法

郵便：1人

電子メール：1人

4 意見の内訳

1 第3章 市立病院の方向性・・・3件

2 第4章 計画の内容・・・・・・・・2件

3 その他・・・・・・・・1件

平成29年3月

名古屋市病院局

1 市立病院の方向性（3件）

（1）地域医療構想を踏まえた役割の明確化

【市民意見】

現状の東部・西部医療センターは高度急性期医療の提供を継続するとともに、2次救急を充実してください。また、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症対策など5疾病5事業の追求を行い、公的病院としての役割を深めてください。緑市民病院は2次救急を充実して、名古屋市が責任を持って運営していくようにしてください。

【市の考え方】

東部医療センター及び西部医療センターについては、「高度急性期」「急性期」の医療機能を担っていくとともに、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療を提供してまいります。

緑市民病院については、平成24年度より指定管理者制度を導入しており、指定管理者による運営のもと、救急医療の充実等による医療サービスの向上を図ってまいります。また、市は「指定管理者制度の運用に関する指針」に基づき、指定管理者の管理運営状況について、毎年度、点検・評価を実施し、必要な指導・助言を行ってまいります。

（2）再編・ネットワーク化

【市民意見】

国の示した「地域医療構想」に基づいて、愛知県が圏域ごとで、4つの機能に区分して病床数を示しました。名古屋市でも現行の病床数よりも483床削減される数値がしめされました。とくに、「高度急性期」病床は、3,720床減で現行の56.3%、「急性期」病床は、1,171床減で現行の12.7%減となり、「高度急性期」病床、「急性期」病床の削減が際立っています。「地域医療構想」は一律機械的に数字をあてはめたもので、地域性や医療実態を反映したものではありません。よって、この「地域医療構想」のベッド数を加味するのではなく、西部医療センター500床、東部医療センター498床、緑市民病院300床を継続してください。

【市の考え方】

愛知県地域医療構想では、病床の機能分化と連携を進める必要があるとしていることから、愛知県における地域医療構想を実現するための施策の検討状況などを注視しながら、市立病院全体として、市民の医療ニーズに的確に応えることができるよう、適切な対応を検討してまいります。

(3) 経営形態の見直し

【市民意見】

守山市民病院、城西病院のように閉鎖・民間譲渡などないようにしてください。緑市民病院についても指定管理者制度から市直轄の運営に戻してください。

【市の考え方】

東部医療センター及び西部医療センターについては、様々な側面からこれまでの改革の取り組み状況や成果を検証するとともに、安定した人材の確保など総合的な観点から、地方独立行政法人化も含め経営形態の見直しの必要性について検討してまいります。

緑市民病院については、現在の指定管理者の指定期間が平成33年度までであることを踏まえ、本計画期間内において、緑市民病院周辺の医療ニーズや医療環境の状況などを把握し、総合的に勘案したうえで、平成34年度以降のあり方を検討してまいります。

2 計画の内容（2件）

(1) 東部医療センター及び西部医療センターの取組みの内容

【市民意見】

理念として「患者さんと職員の笑顔がみられる病院」とあるが、患者が笑顔になれるかどうかは、医師の言葉・態度に起因している。理念の実現のための方策として、医師たちの養成システムの中にく患者とのコミュニケーション能力の向上を図る」という目標があつてしかるべきではないかと強く感じます。定期的・持続的なコミュニケーション能力向上のための講座やロールプレイなど、話し方についての専門家による研修の設定を提言します。

【市の考え方】

《目標1》市民の皆さまに選ばれる病院の取組みとして、〈取組み1-7〉患者の立場に立った医療⑥患者満足度の向上において、研修等を実施し、全職員の接遇の向上など患者満足度の向上を図ることとしております。「患者さんと職員の笑顔がみられる病院」の実現のためには、全職員がコミュニケーション能力を高めることが重要と考えており、医師を含めた全職員を対象に、外部講師などによる接遇研修を実施することにより、コミュニケーション能力など接遇の向上を図ってまいります。

【市民意見】

小児の医療、出産など医師確保の努力を続けてください。看護師確保は7対1看護を継続し、看護職員確保法である夜勤は月8日（2交替は月4回）、1日の労働時間は月8時間、勤務間隔は12時間以上あけ、夜勤・交替制労働者は週32時間とするよう、看護職員労働の軽減に努めるようにしてください。また、非常勤職員の賃金1000円以下をなくし、看護師の非常勤職員は1500円以上にしてください。

【市の考え方】

医師・看護職員をはじめとする医療従事者の確保は非常に重要であると考えており、市立大学などと連携を図りながら、医療従事者の確保に努めるとともに、各職種の役割分担・連携や働きやすい職場環境の整備などに努めてまいります。

3 その他（1件）

【市民意見】

パブリックコメントは広報などでも拝見しました。このように市民に呼びかけてくださることに大変感謝しています。今後とも情報を市民に知らせていただくようお願いをします。

【市の考え方】

市のパブリックコメント制度に基づき、市が計画を策定する場合には、あらかじめ市の原案に対する皆さまのご意見をお聴きしてまいります。また、本計画の進捗状況については、毎年度、病院局ウェブサイトなどで公表してまいります。

名古屋市病院局管理部経営企画室

電 話：052-972-3348

F A X：052-972-3381

電子メール：a3348@byoin.city.nagoya.lg.jp